

# 技術倫理協議会 第4回公開シンポジウム

## 産官学における技術倫理の確立 —内部通報などの倫理問題にどう対処するべきか—

**主催**：技術倫理協議会

**共催**：応用物理学会、化学工学会、土木学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本建築学会、日本工学アカデミー、  
日本工学教育協会、日本技術士会、日本原子力学会、電気学会、日本化学会（以上、技術倫理協議会参加団体）

**後援**：日本工学会、日本技術者教育認定機構（予定）

**CPD**：本シンポジウムはCPD認定プログラムとなる予定です。

**日時**：平成20年12月1日（月） 13:00～17:00

**場所**：（社）土木学会講堂 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内 TEL 03-3355-3441（代）  
交通アクセス（地図は <http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml> をご参照ください。）

JR「四ツ谷」駅四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分

**参加費**：無料（ただし、資料代として1,000円を当日徴収いたします。）

**申込先**：指定の用紙にご記入の上、FAXにて土木学会宛てお申し込みください。

**問合せ**：土木学会

**開催趣旨**：近年、公共工事に関する談合、食品の安全など企業・個人の職業倫理を問われる社会的問題が頻発しており、公的機関がかかわる官製の不正も少なくない。また、大学や研究機関における研究費の不正使用等、研究倫理にもとる事例も後を絶たない。

一方、公益法人改革のなかで、学協会は公益法人化のために必要な改革が求められている。このように、産官学のいずれにおいても、技術倫理の確立が求められている。このような情勢に鑑み、本シンポジウムにおいては、産官学のそれぞれの立場から実例を交えながら具体的な取り組みをご紹介いただく。併せて講演者を交えたパネルディスカッションを行い、学協会が倫理問題に対してどのように対処してゆくべきかを、参加者の皆さんとともに考えてゆきたい。

### プログラム

#### 1. 議長挨拶 : 13:00～13:15

池田駿介議長（東京工業大学、土木学会）

「学協会の公益法人化とその課題」

#### 2. 基調講演 : 13:15～14:45（各30分）

小林直人氏（産業技術総合研究所理事）

「産総研における研究倫理の取り組みについて」

松本洋一郎教授（東京大学総長特任補佐）

「科学・技術研究における行動規範について」

山崎 宏委員（日本技術士会理事）

「実例に学ぶ技術者倫理」

（休憩 15分）

#### 3. パネルディスカッション : 15:00～17:00

—内部通報などの倫理問題にどう対処するべきか—

コーディネータ：三木哲也委員（電気通信大学、電子情報通信学会）

パネリスト：

小林直人氏（産業技術総合研究所理事）、

松本洋一郎教授（東京大学総長特任補佐）、

山崎 宏委員（日本技術士会理事）、

御園生誠氏（製品評価技術基盤機構理事長）、

小野京右委員（日立製作所、日本機械学会）、

高橋信之委員（早稲田大学、日本建築学会）、

皆川 勝委員（武蔵工業大学、土木学会）

（休憩 15分）

#### 4. 懇親会 : 17:15～18:30

参加費 2,000円を当日徴収いたします。